



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月1日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL https://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,080	3.3	203	406.8	257	75.1	31	—
2019年3月期第1四半期	8,788	8.0	40	—	146	—	△38	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 302百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △249百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.94	—
2019年3月期第1四半期	△1.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	56,883	45,397	75.3
2019年3月期	57,742	45,689	74.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 42,830百万円 2019年3月期 43,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当6円

2020年3月期配当金(予想)につきましては、2019年5月8日に「2019年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	9.4	1,300	10.0	1,400	2.7	800	12.7	23.63
通期	49,000	5.7	4,000	2.5	4,100	0.0	2,450	△2.2	72.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	34,536,635株	2019年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	674,850株	2019年3月期	674,539株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	33,861,974株	2019年3月期1Q	33,862,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、依然として今後の世界経済全体での先行きの不透明感は拭えず、その動向に引き続き留意が必要な状況にあります。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っております。国内では、「音の報せる力」を強みとする専門メーカーである当社ならではの視点で、公共空間での当社独自の音声明瞭化技術の実用化などを進めてまいりました。また、世界5地域でのマーケティング機能を強化させ、それぞれの市場ニーズに応えた商品開発の更なる加速と販路の拡充を継続して行っております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,080百万円（前年同四半期比+291百万円、3.3%増）となりました。利益については、販売費及び一般管理費は増加しましたが、営業利益は203百万円（前年同四半期比+163百万円、406.8%増）、経常利益は257百万円（前年同四半期比+110百万円、75.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円（前年同四半期比+70百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、報告セグメントの算定方法を当第1四半期連結会計期間より変更いたしました。この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後の算定方法により比較算出しております。詳細については、後述の【セグメント情報】に記載しております。

(日本)

売上高は5,259百万円（前年同四半期比+112百万円、2.2%増）、セグメント利益（営業利益）は795百万円（前年同四半期比+199百万円、33.6%増）となりました。

鉄道車両向けの出荷は減少するものの、減災・防災市場向けの販売や、交通インフラ市場での販売が伸長しました。また、映像機器の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は1,681百万円（前年同四半期比+141百万円、9.2%増）、セグメント利益（営業利益）は309百万円（前年同四半期比+12百万円、4.3%増）となりました。

タイやインドネシアでの販売が堅調に推移し、また、特にタイでは交通インフラ市場向けの売上高が増加したことにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は1,144百万円（前年同四半期比△72百万円、6.0%減）、セグメント利益（営業利益）は128百万円（前年同四半期比△69百万円、35.2%減）となりました。

為替円高による売上高の減少に加え、大型案件の減少もあり、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は565百万円（前年同四半期比+33百万円、6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は73百万円（前年同四半期比+2百万円、2.8%増）となりました。

アメリカでの商業施設向けの大口案件の納入が進んだことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は429百万円（前年同四半期比+76百万円、21.5%増）、セグメント利益（営業利益）は57百万円（前年同四半期比△0百万円、0.4%減）となりました。

中国や香港における空港向け案件などの納入が進み、売上高が増加しましたが、営業費用の増加により、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は56,883百万円となり、前連結会計年度末に比べ859百万円の減少となりました。資産の部は、有形固定資産の増加などがありましたが、売上債権の減少などにより減少しました。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少、配当金支払による利益剰余金の減少などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、「2019年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,014	15,662
受取手形及び売掛金	10,305	7,249
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	6,175	6,971
仕掛品	846	1,047
原材料及び貯蔵品	2,994	3,056
その他	671	1,153
貸倒引当金	△85	△54
流動資産合計	41,423	38,586
固定資産		
有形固定資産	7,747	9,586
無形固定資産	1,703	1,590
投資その他の資産		
投資有価証券	5,524	5,739
投資その他の資産	1,345	1,382
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	6,869	7,120
固定資産合計	16,319	18,297
資産合計	57,742	56,883
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,066	3,225
短期借入金	934	857
未払法人税等	417	175
引当金	182	144
その他	2,472	2,647
流動負債合計	8,073	7,049
固定負債		
退職給付に係る負債	2,625	2,653
その他	1,354	1,782
固定負債合計	3,979	4,436
負債合計	12,053	11,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	29,050	28,540
自己株式	△394	△394
株主資本合計	40,802	40,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,250	3,396
為替換算調整勘定	△868	△885
退職給付に係る調整累計額	23	26
その他の包括利益累計額合計	2,404	2,538
非支配株主持分	2,481	2,566
純資産合計	45,689	45,397
負債純資産合計	57,742	56,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	8,788	9,080
売上原価	4,863	4,931
売上総利益	3,924	4,148
販売費及び一般管理費	3,884	3,945
営業利益	40	203
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	44	45
為替差益	22	—
その他	42	40
営業外収益合計	117	90
営業外費用		
支払利息	8	14
為替差損	—	19
その他	2	2
営業外費用合計	10	35
経常利益	146	257
税金等調整前四半期純利益	146	257
法人税等	83	115
四半期純利益	63	142
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	110
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	31

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	63	142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265	146
為替換算調整勘定	△573	9
退職給付に係る調整額	△4	3
その他の包括利益合計	△312	159
四半期包括利益	△249	302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242	165
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(IFRS第16号)を適用しております。これにより、借手のリース取引は、原則として全てのリースについて資産および負債を計上することとしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間期首の有形固定資産が472百万円、流動及び固定負債のその他が476百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,146	1,539	1,217	532	353	8,788	—	8,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	749	30	2	2	6	791	△791	—
計	5,895	1,570	1,219	534	360	9,580	△791	8,788
セグメント利益	595	297	198	71	58	1,220	△1,180	40

(注)1. セグメント利益の調整額△1,180百万円には、セグメント間取引消去31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,212百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,259	1,681	1,144	565	429	9,080	—	9,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,101	32	2	1	4	1,142	△1,142	—
計	6,360	1,713	1,147	566	433	10,222	△1,142	9,080
セグメント利益	795	309	128	73	57	1,365	△1,162	203

(注)1. セグメント利益の調整額△1,162百万円には、セグメント間取引消去38百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,200百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社主導の機能とその管理区分をより明確にするため、従来「アジア・パシフィック」、「中国・東アジア」に含めておりました生産機能、および「アメリカ」に含めておりました鉄道車両関連機器の販売機能を、「日本」に含めております。

また、「アジア・パシフィック」、「欧州・中東・アフリカ」、「アメリカ」、「中国・東アジア」の業績をより適切に把握するため、当社が各セグメントに向けて行った営業取引を含めております。

この変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。